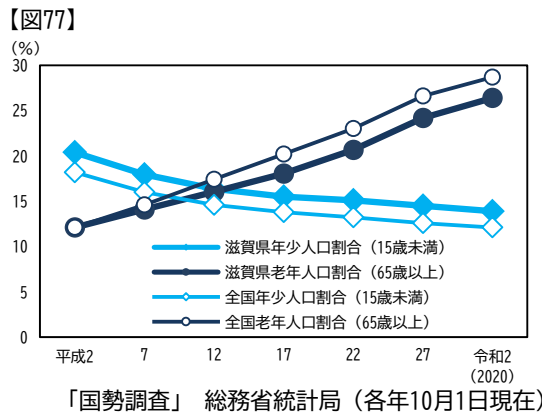
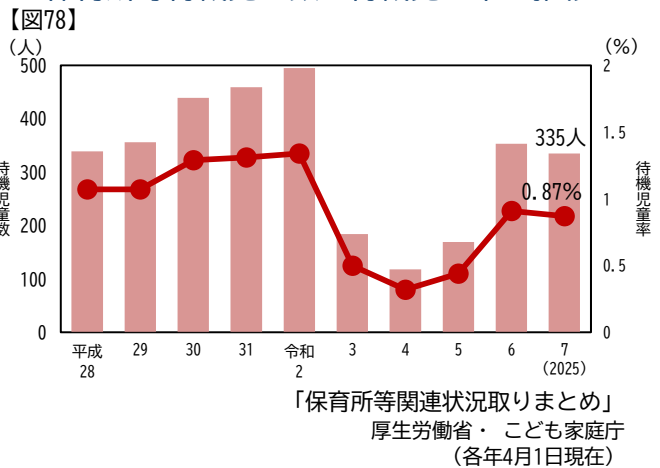


# 健康・福祉

## ■年少人口と老年人口割合の推移

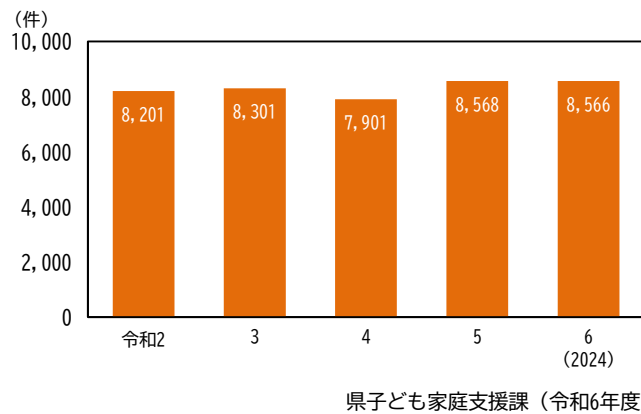


## ■保育所等待機児童数と待機児童率の推移

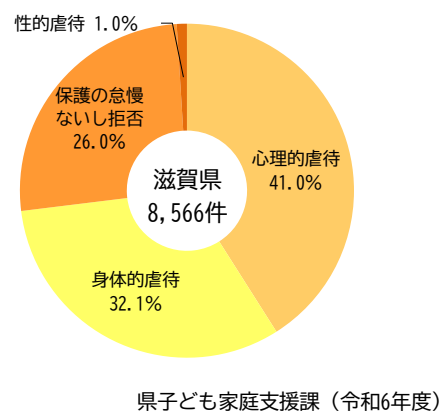


## ■児童虐待相談件数

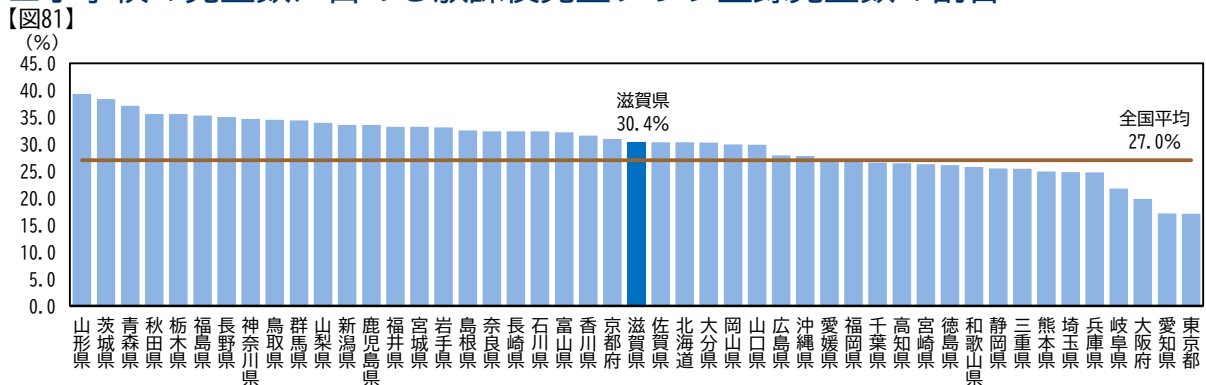
【図79】 児童虐待相談件数の推移



【図80】 児童虐待相談件数の虐待種別割合



## ■小学校の児童数に占める放課後児童クラブ登録児童数の割合



放課後児童クラブ登録児童数：「令和7年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」 こども家庭庁（令和7年5月1日現在）  
児童数：「学校基本調査」 文部科学省（令和7年5月1日現在）

滋賀県の年少人口割合は1920年は36.0%であったが、1970年には23.1%、2020年には13.9%まで低下した。これに対し、老年人口割合は1920年は6.5%、1970年は8.9%、2020年には26.4%となった。

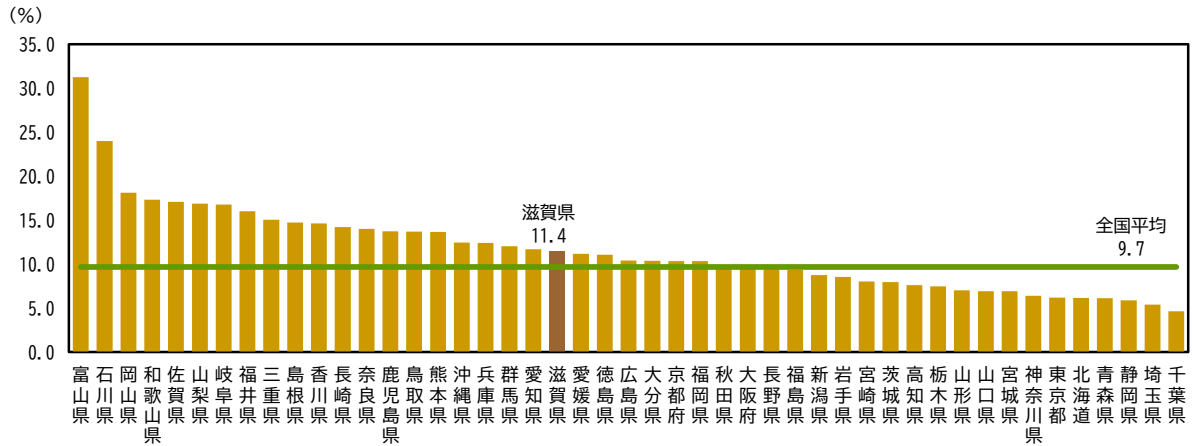
国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」によると老年人口は2045年には約450,000人、35.5%となる見込み。【図77】

令和7年の保育所等待機児童率は全国第1位。全国平均は0.08%。【図78】

児童虐待相談対応件数を年齢別にみると、小学生以下が6,205件で全体の72.4%を占める。虐待者は実母が最も多く5,301件で全体の61.9%、実父が2,801件で32.7%。【図79】【図80】

## ■老人クラブ

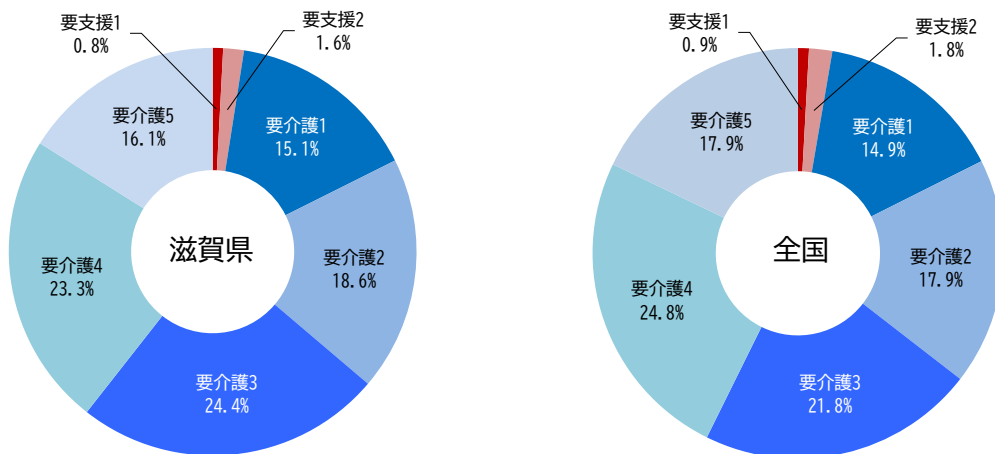
【図82】65歳以上人口に占める老人クラブの会員割合



老人クラブ会員数：「福祉行政報告例」厚生労働省(令和7年3月31日)  
人口：「人口推計」総務省統計局 (令和6年10月1日)

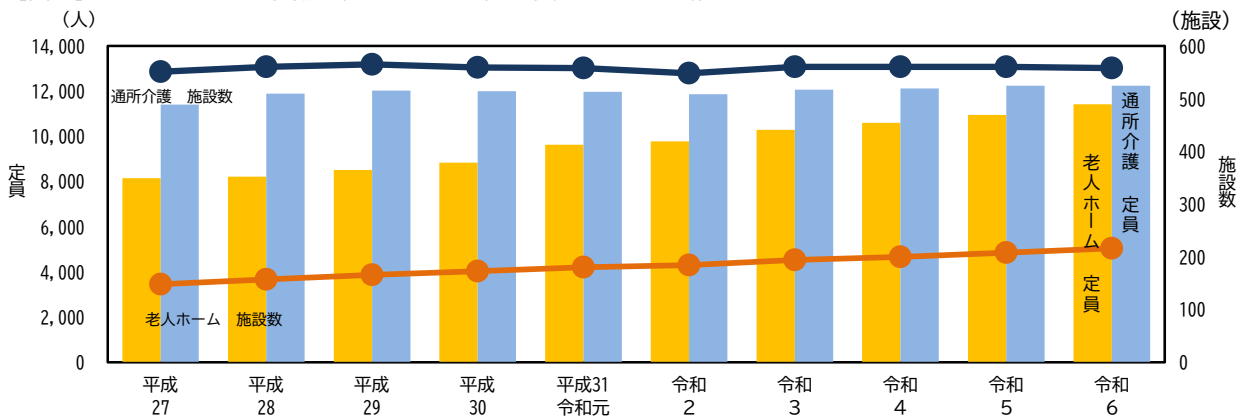
## ■介護

【図83】介護保険給付額の割合(令和6年5月～令和7年4月審査分)



「介護給付費等実態統計」厚生労働省(令和6年度)

【図84】老人ホームと通所介護(デイサービス)の施設数・定員の推移



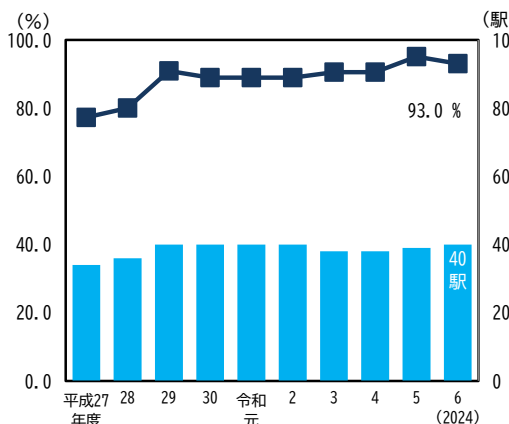
老人ホーム：各年3月31日現在、通所介護：各年10月1日現在  
県医療福祉推進課

滋賀県の「要支援」「要介護」の保険給付額は、それぞれ27億13百万円、1,069億59百万円。  
全国の「要支援」「要介護」の保険給付額は、それぞれ2,873億81百万円、10兆3,535億61百万円。  
なお、金額には、月の途中で要支援から要介護、要介護から要支援に変更となった者を含む。【図83】

滋賀県の令和6年3月31日現在の老人ホームは216施設で、定員数は11,423人である。  
また、令和6年10月1日現在の通所介護施設は558施設で、定員数は12,244人である。【図84】

## ■ バリアフリー化 (福祉のまちづくりの推進)

【図85】 鉄道駅でのエレベーター・エスカレーター整備状況

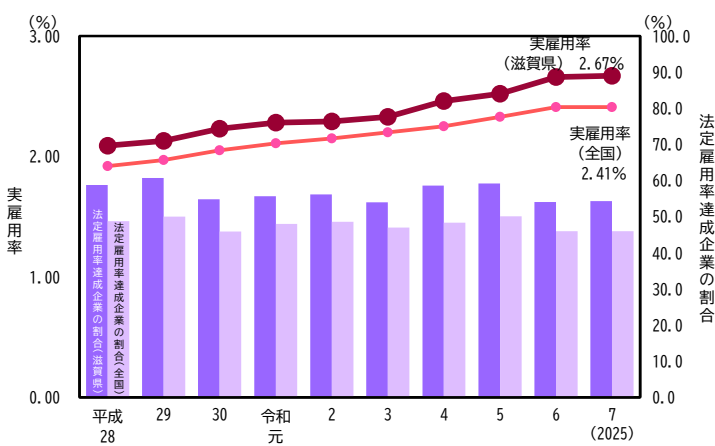


※鉄道駅でのエレベーター・エスカレーター整備状況は、1日の乗降客が3,000人以上の駅を対象としている。そのため、対象となる駅数の増減に伴い整備率も変動する。

県交通戦略課

## ■ 障害者雇用

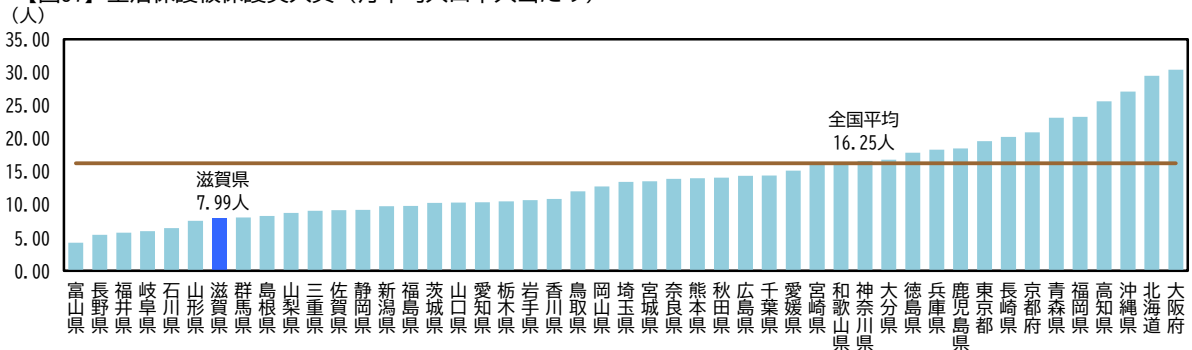
【図86】 一般の民間企業における実雇用率の推移



「障害者雇用状況の集計結果」 厚生労働省滋賀労働局 (各年6月1日)

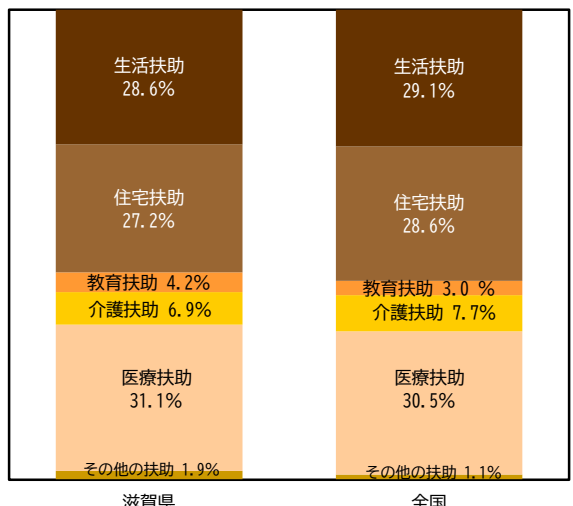
## ■ 生活保護

【図87】 生活保護被保護実人員 (月平均人口千人当たり)



「統計でみる都道府県のすがた 2026」 総務省統計局 (令和5年度)

【図88】 生活保護扶助の種類別人員割合

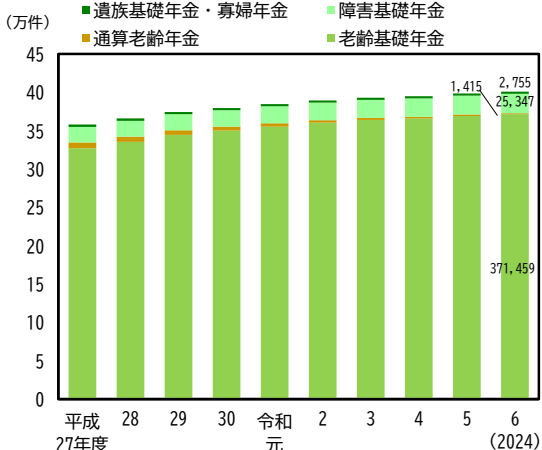


※「その他の扶助」は「出産扶助」「生業扶助」「葬祭扶助」の合計。

「被保護者調査 (年次調査)」 厚生労働省 (令和5年7月末日現在)

## ■ 国民年金

【図89】 国民年金の受給件数の推移



※「障害基礎年金」には旧法の障害年金、「老齢基礎年金」には旧法の老齢年金を含む。

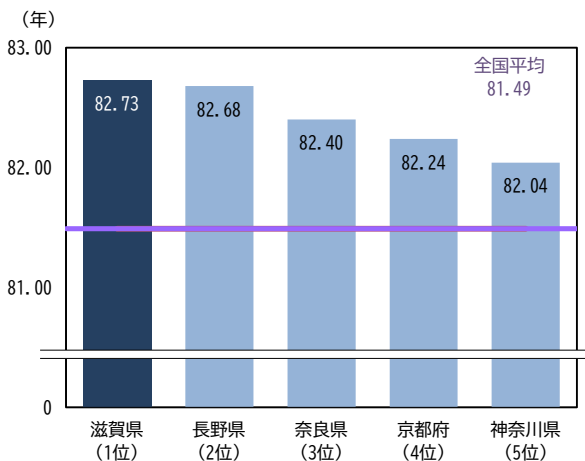
日本年金機構大津年金事務所

扶助の延べ人員は滋賀県で32,432人、全国で5,978,203人。  
前年と比べて滋賀県は0.6ポイント増加、全国は0.7ポイント減少した。【図88】

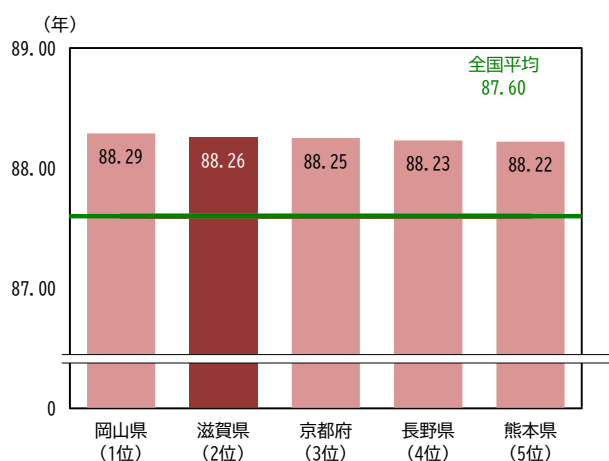
令和6年度の給付金額は、  
遺族年金および寡婦年金が21億7518万円、「障害基礎年金」が226億4856万円、  
通算老齢年金が3億2049万1千円、「老齢基礎年金」が2703億7008万4千円。【図89】

## ■平均寿命

【図90】男性



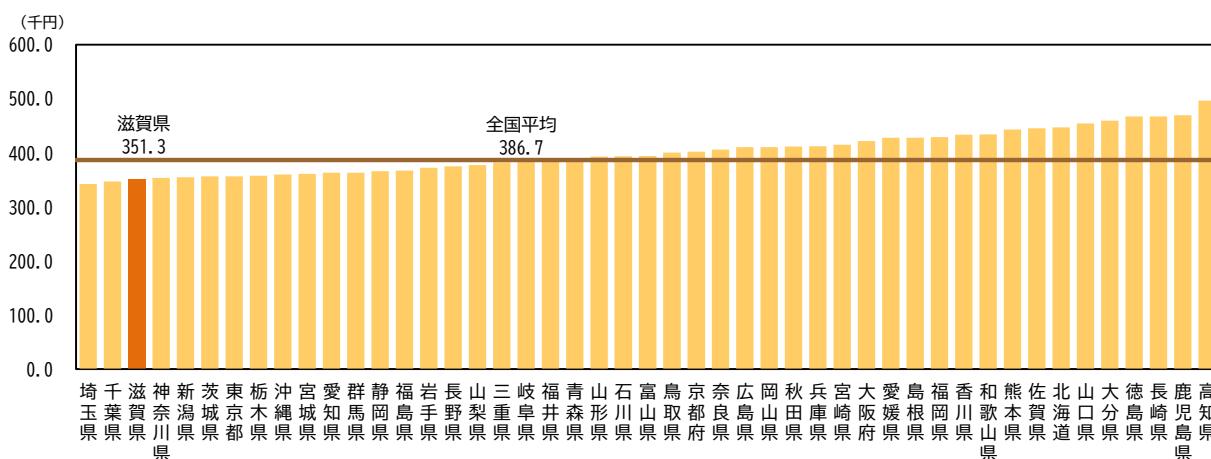
【図91】女性



「令和2年都道府県別生命表」 厚生労働省

## ■国民医療費

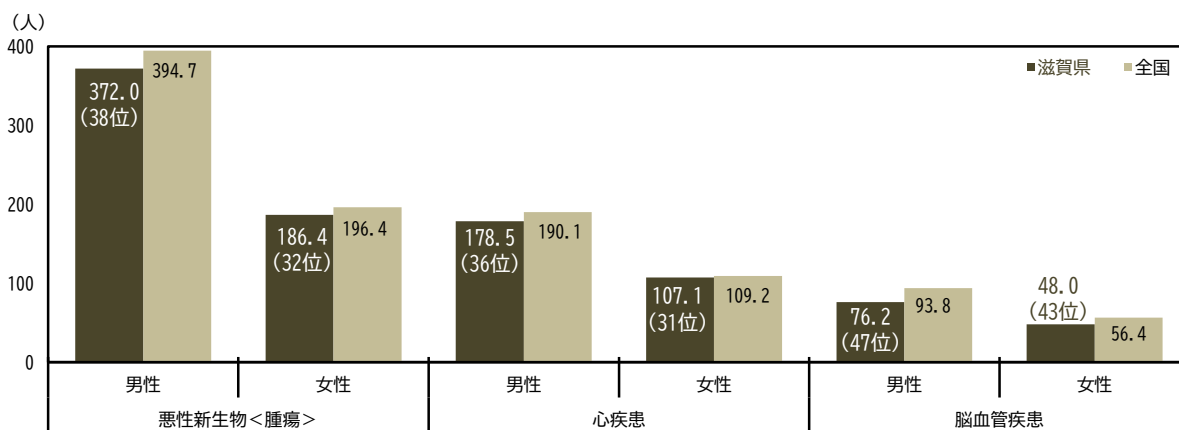
【図92】1人当たり国民医療費



「令和5年度国民医療費」 厚生労働省

## ■3大死因による死亡率

【図93】年齢調整死亡率（人口10万対）



「令和2年都道府県別年齢調整死亡率の概況」 厚生労働省

男性の平均寿命で、最も長い滋賀県と最も短い青森県では3.46年の差があるのに対し、女性の平均寿命は、最も長い岡山県と最も短い青森県でも1.96年しかない。【図90】【図91】

1973年（昭和48年）の国内総生産に対する国民医療費の比率は3.38%であったが、2023年（令和5年）は8.08%となった。【図92】

都道府県別に死亡数を人口で除した死亡率で比較すると、各都道府県の年齢構成の差により、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向がある。異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率を「年齢調整死亡率」という。【図93】